

FixZ-7

ドイツ特許庁にて登録済み 申請番号 20 2009 002 208

傾斜台形金属板屋根に最適な追加傾斜

- 取り付けが素早く簡単
- 後部の通風が良い
- 優れた自己洗浄機能
- ルーフクラディングへの荷重伝搬を最適化



説明

傾斜角度が10°未満の台形金属板屋根の場合、モジュールを屋根に平行に取り付けると、モジュールにおける収率および自己洗浄機能の低下を招くため、最適な選択肢ではありません。しかし、多くの場合、支持スタンドを用いた通常の傾斜は、荷重が大きくなるため、経済的にも構造的にも困難です。さらに、実用上、傾斜角を小さくする必要があります。

Schletter **FixZ-7** では、このような問題に対処した、簡単かつ安価な追加傾斜をご利用いただけます。



① Fix2000ClickTop 接続部品の取り付け

モジュール列の日陰距離を考慮してください！

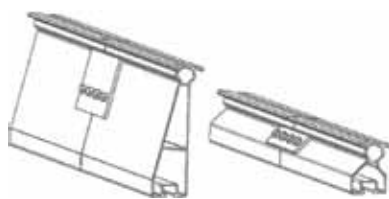
適用情報

システムは、約1.3mから1.7mまでのモジュール高さで5°から7°の設定角度用に設計されていることを考慮してください

技術的な理由により、FixZ-7は、フレームモジュールの垂直取り付けにのみ適用できます。ただし、直線支持および直線クランプ固定での水平取り付けでも、850mmのモジュール幅までご利用いただけます。

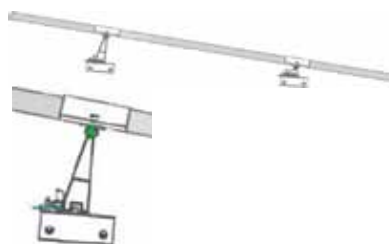
クランプ固定位置は、(各々、製造メーカー情報に準拠した)モジュール高さの1/5から1/4の範囲内に収める必要があります。

また、Fix2000に関する取り付け情報にもご注意ください。さらに、最小距離として、横方向でルーフ端部まで1.5m、北と南の各ルーフ端部まで1.2mを、それぞれ確保する必要があります。



② FixZ-7クロスビームレールの取り付け

接続プレートとセルフドリルネジで、レールジョイントを固定してください。



③ モジュールの取り付け



テクニカルデータ

材料	システムプロファイル:アルミ
構造解析	現行の国の規格に準じた構造計算(ドイツ国内の場合、JIS C 8955:2011)。構造計算に基づいた、必要な固定箇所の数を示す構造解析書。構造解析用にお客様に自由にご活用いただける表および寸法プログラムをご用意しています。それぞれの場合に応じた構造解析情報に必ずしたがってください。
システム構造	
計算とご注文	当社の自動計算機ソフトウェアでの計算とご注文 (「FixZ-7」システムをご選びください)

当社の自動計算機で、システム価格を素早く簡単にご確認いただけます!

*対応の製品シートおよび当社のGeneral Terms and Conditions of Sale and Supply(一般販売供給条件)(www.schletter.de/AGB)にしたがって、変更および/または技術的修正を行う場合があります。